

ようじえんだより 2020年度6月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

6月主題『みつける』

主題聖句：あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのです

ペトロの手紙Ⅰ 4章10節

- ☆ 0歳児：保育者の祈る姿に接する。絵本や歌にふれ、心地よさを感じる。まわりの人やものに興味をもち、関わろうとする。
- ☆ 1～2歳児：保育者の祈りのことばに心を合わせようとする。好きな場所、人、ものに関わろうとする。思いや主張やこだわりを認められ生活する。
- ☆ 3歳児：園生活の中で、折にふれて讚美し祈る。砂・泥、水などで遊ぶ楽しさや、様々な感触を体験する。興味をもったことに保育者や友だちからの共感を得て、なお喜んです。
- ☆ 4～5歳児：礼拝に参加することを喜び、聖書のお話に関心をもつ。砂・泥、水、絵の具など様々な素材を使って、身体を存分に使いながら遊ぶ。友だちとのぶつかり合いが増える中、互いに思いを伝え合って遊ぶ。

人間関係を円滑にする努力は必須

若い頃、不遜にも私は「人間関係は楽なのが一番」と思っていました。確かに異常に気を使う人間関係はしんどいものであり、適度な距離をもって付き合うべき相手もいると思います。しかし結婚して家庭をもつようになって、「家族のような親しい関係であっても、人間関係を円滑にする努力は必要である」と思うようになりました。ストレスフリーな人間関係と言うのは、知らず知らずのうちに相手に我慢を強いていることが往々にしてあること、そして自分自身が変化する(成長する)ことがあまりないと思うようになったのです。

相手の良い所を見つける

人間関係を円滑にする努力の方法はいろいろあると思いますが、一番は「相手の良い所を見つけること」です。私たち人間は弱い存在で

すから、相手のダメなところを見つけるのは簡単なことです。余裕がなくなってくると相手のダメなところしか目につかなくなります。しかしどんな人でも必ず、自分より優れたところがあるはず。肝心なことは、相手の良い所を見つけるには、自分が意識してそのようにしなければならぬ、ということです。

みんな違った賜物をいただいている

今月の聖書の言葉は、みんな神様から賜物(たまもの:長所や才能という意味)を授かっていると云います。その賜物はみんなそれぞれ違うというのがポイントです。兄弟で同じようなものを食べて同じような環境で育っていても賜物は一人一人違います。その違いに目をとめて、違う賜物が豊かに響きあっていく関係を築いていくことが、平和に過ごす「肝(きも)」となることでしょう。 園長:久保田愛策

年間主題『こころが満たされる』

主題聖句：喜びと平和とであなたがたを満たす
新約聖書 ローマの信徒への手紙15章13節